

大阪湾の磯の生き物観察シート

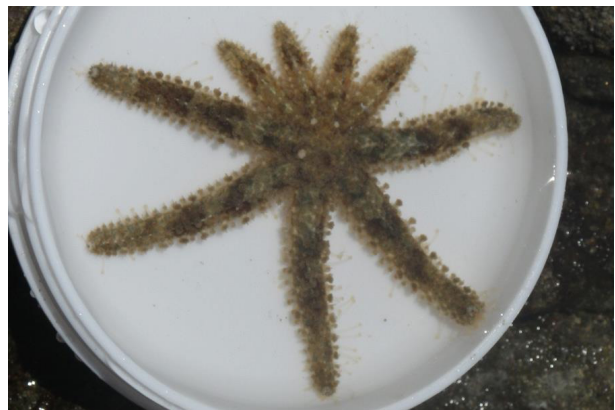
No.16 ヤツデヒトデとヤツデヒトデヤドリニナ

ヤツデヒトデは大阪湾の磯でよくみられるヒトデの一種で、一般的なヒトデ類は腕が5本であるのに対し、ヤツデヒトデは腕が8本あります。ヤツデヒトデは卵からふ化して大きくなる（有性生殖）以外に、体の中央から半分ずつ2つに分裂し、その後それぞれ新たに腕が4本生えるといった増え方（無性生殖）もします。ですので、右上の写真のように4本の短い腕があるのは、分裂してそれほど時間がたっていない個体になります。また、下の写真の様に、ヤツデヒトデの口に小さな貝がついていることがあります。この貝はヤツデヒトデヤドリニナという貝で、ヤツデヒトデと共生する貝です。磯でもしヤツデヒトデを見つけたら、腕の長さや口周辺に貝がないかにも注目してみてください。

ヤツデヒトデ



半分に分裂した後、新たに腕が伸び始めたヤツデヒトデ



ヤツデヒトデの口側

口の周辺にヤツデヒトデヤドリニナが2個体（青矢印）いるのがわかります。

